

平成27年11月13日

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市自治振興会連合会
会長 島田 勝由



要 望 書

田中市長におかれましては、南砺市の発展に昼夜を問わずご尽力いただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

市長は、積極的に地域に出向き、我々市民との対話の中で市政運営をいただいておりますことに、当連合会といたしましては、大変に心強く感じております。

さて、本年春に開業した北陸新幹線や、「地方創生」による将来の人口ビジョンをにらんでの地域活性化のための総合戦略の実施、また、公共施設等の見直しなど、私たちを取りまく社会情勢も大きく変化しております。

折しも、南砺市は合併後10年が経過し、南砺市全域がより一体感を持ちつつ、消防署の再編や保育所の統合、小中学校校舎の耐震化など大型事業も着々と整備が進み、次の新たなステージに入っております。

しかしながら、市内のどの地域においても、少子高齢化をはじめとするさまざまな地域課題が山積しており、住民自治組織の中心的な役割を果たす自治振興会の役割はますます大きくなってきています。

そのような中、自治振興会といたしましても、「まちづくり基本条例」の主旨に則り、従来からの取り組みに加え、高齢者の見守りや地域防災などの分野での役割についての検討も始めているところです。

市においては、まちづくりへの取り組みを着実に進めていただいているところですが、さらなる、魅力ある地域づくりや安全で安心な地域づくりは、私たち住民の生きがいを持った暮らしの実現とともに、定住人口の増加にもつながるものであると確信しております。

そこで、次の点について平成28年度予算編成、並びに市政運営に反映いただきたく格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



H27-065

1. 安全で安心な暮らしやすいまちづくりについて

市民が安全・安心で地域に暮らすためには、消防力の向上、防災対策の徹底、生活基盤となる道路網の整備や公共交通の確保が重要となってきます。

消防署再編に伴う跡地の有効活用やアクセス道路の整備、老朽化した機材の更新、効率的な施設整備など、早急な対応が必要となっております。

また、近年の豪雨等の異常気象の対策として、洪水調整機能を有するダムの整備、流下能力を高めるための河川の浚渫や改良が必要となっております。

生活基盤となる道路網の整備については、中京圏と北陸を結ぶ東海北陸自動車道が安全に通行できるよう、早期の4車線化が望まれています。

さらに、通学路の安全対策や道路整備、安全な交通を確保するための維持管理の徹底などを進めることが必要となっております。

そして、高齢者の交通手段の確保として各種バスの運行、防犯対策の強化にも事業実施を期待しております。

このことから下記の項目について積極的な対応を図られたい。

(1) 消防力の向上

H27-065-001 総務課 防災危機管理係

①消防ポンプ車や耐震防火水槽、屯所をはじめとする消防施設等について、整備・更新の促進を図ること。

- ・消防ポンプ車の更新の促進
- ・効率的な出動に向けた、屯所の整備
- ・消火栓案内設置看板の全市的な整備

②消防署跡地（城端、井波庄川、福野、福光）の有効活用については、地域の防災拠点としての利用を図るなど、幅広い市民の意見を取り入れ、早期に方針を決定すること。

(2) 豪雨対策

H27-065-002 建設課 道路河川維持係

各地域における浸水対策の取組を進め、早期に対策の効果が発揮されるよう取り組むこと。

- ・豪雨対策として、普通河川における浚渫の実施をお願いしたい。
- ・防災資材（土のう、充填用砂）備蓄箇所の周知及び利用方法の訓練実施
- ・流下能力を高めるために、河川の堆積土砂について状況を確認の上除去するよう、管理者に働きかけること。
- ・土砂災害警戒区域の指定を受けた溪流について、砂防・治山事業による山間部の土石流等の対策がとられるよう、要望を進めること。
- ・雨量等による通行規制がおこなわれる国道について、引き続き対策工を実施され、規制の見直しに向けた取組みを管理者に働きかけること。

(3) 利賀ダムの整備 **H27-065-003 建設課 道路河川維持係**

近年多発する災害から庄川流域 30 万人の生命・財産を守る治水は勿論、年間を通じ安全・安心に通行することができる道路事業の促進に全面的に協力している。現在完成予定とされている平成 34 年度までに、「国道 4 7 1 号利賀バイパス」の整備を含め、必ず完成するよう工事の促進を求めること。

(4) 山間地域の市道・林道の安全確保について

H27-065-004 建設課 道路河川維持係

主要な林道や遊歩道に隣接した山林には、枯損木の存在が考えられますが、その実態については調査がなされていないのが現状です。

事故の発生を防止するためにも、山間地域における市道・林道や遊歩道における枯損木の調査を実施され、危険を及ぼす可能性がある場合には、所有者への指導や市による伐採。また、降雪期初期の道路除雪支障木（いわゆるよりかかり木）についてパトロールの徹底とともに事前除去を実施されたい。

(5) 城端スマートインター開設への取組み促進について

H27-065-005 建設課 道路係

クリエイタープラザ建設着工に伴い、桜ヶ池周辺の利用者の増加が見込まれることから、城端スマートインターの開設に向けた具体的な取組みを加速すること。

(6) 東海北陸自動車道の 4 車線化とスマート I C の整備促進について

H27-065-006 建設課 道路係

東海北陸自動車は、中京圏と北陸を結び、沿線地域の産業経済・観光等の発展に大きな役割を担っており、高速道路としての安全と最大の効果を発揮するために、早期の 4 車線化の整備を求めること。

また、南砺スマート I C の供用開始にあたり、アクセス道路の改良整備について早期に実現すること。

(7) 市道の整備計画について

H27-065-007 建設課 道路係

現行の「南砺市安全・安心な道路整備 5 箇年計画」の進捗状況について説明していただきたい。また、平成 3 0 年以降の計画策定には、各地区路線の検討状況等を自治振興会と協議していただきたい。

(8) 地域住民の交通の確保

H27-065-008 地方創生推進課 交通政策係

平・上平地域では、世界遺産バスの運行に伴い、病院への通院時には城端駅での乗換えが必要となった。高齢者の安全安心のため、路線の存続を図ること。

また、金沢井波線バス実証実験については、北陸新幹線開業の最大のメリットを引き出す上でも、本格運行となるよう要望する。

(9) 防犯対策の推進について **H27-065-009** **住民生活課** **生活安全衛生係**

地域で、安全安心に暮らす上で防犯対策は欠かすことのできない要素であることから、事件の発生を未然に防ぐための防犯カメラの設置について、設置基準の明確化と計画的な整備を進められたい。

また、高齢者の振り込め詐欺被害等が連日新聞紙上を賑わしていることから、消費者安全確保地域協議会の設置を推進する体制の整備を急がれたい。

2. 地域活性化の支援策について

近年、市街地における空き店舗が増加しているばかりではなく、市内公共交通の拠点となる、すべてのJR駅舎内の売店が閉鎖されており、このことが地域の活力をさらに低下させる一因となっています。

しかし、市内には近県からの来訪者が多い観光資源も数多くあり、その資源のさらなる活用と維持が望まれているところです。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

(1) JR 城端線について

利用者の減少や、市からの助成の打ち切りによって、駅構内の売店が閉鎖されるなど、市の玄関口としての活力が失われていることから、利用者の多数を占める高校生が活用しやすい施設として再生するとともに、JR利用者以外も利用することができる、地域コミュニティ施設としての検討を行なわれたい。

また、今春の北陸新幹線開業により関東方面からのたくさんの観光客がJR城端線を利用されていることから、各駅に下車した城端線利用者が容易に観光目的地案内サービスを受けられるよう、観光案内所を駅近くに設置するなど、機能強化・活性化を図っていただきたい。

H27-065-010 **交流観光まちづくり課** **交流観光係**

あわせて、城端線の線路（レール）整備と城端駅に自動切符販売機設置をJRに要望していただきたい。

H27-065-011 **地方政策推進課** **交通政策係**

(2) 観光資源の有効活用 **H27-065-012** **交流観光まちづくり課** **交流観光係**

北陸新幹線開業にあわせ、世界遺産五箇山合掌集落をはじめとする南砺市の観光資源の有効活用を図られたい。特に世界遺産五箇山合掌集落には、茅場造成などの維持管理に対し支援いただきたい。また、石川県境に位置する医王山麓観光施設については、金沢側から市への入口といった立地を有効に活かすために、施設の充実、環境の整備、市内の温泉とあわせた広報などによる利用促進に取り組まれたい。

(3) 空き店舗の有効活用のための振興策の拡充 H27-065-013 商工課 商工係

中心市街地における空き店舗が増加している。空き店舗を活用するために、助成等の振興策について、拡充を図られたい。

3. 地域での見守り体制について

地域で暮らし続けるためには、生まれたときから介護が必要となるときまで、地域での見守りが大切となっています。地域での見守りを進めるにあたり、自治振興会の位置づけは今後ますます重要となりますが、同時に各地区社会福祉協議会の活動活性化が重要となっております。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

(1) 地区社会福祉協議会の活動活性化 H27-065-014 福祉課 社会福祉係

今後の高齢者対策、子育て支援など、地域での見守り体制の充実については、自治振興会といたしましても、その役割がどこまで担えるかを検討しているところではありますが、現状の仕組みのスクラップ&ビルドは課題が多く、全ての自治振興会での対応は困難な状況であります。

当面、対応困難な自治振興会においては、活動の活性化に向け、既存の地区社会福祉協議会独自事業の展開が図られるよう、財源の確保（市社協基金の活用）の検討など、市の強い指導力を発揮されたい。

(2) 保健センター機能の充実 H27-065-015 健康課 保健係

専門資格者が常駐する利点を生かし、保健センターでの取組みに、障害訓練、子育て支援、放課後児童保育等の機能を加え、母子、高齢者、障害者等が利用しやすい施設として使用されるよう検討されたい。

4. 子育て・教育環境の充実について

元気で活気ある南砺市の実現には、妊娠、出産、保育、義務教育、高等教育のどの時期においても、充実した子育て環境が求められています。地域で出産することができ、充実した子育て環境が整備されることで地域の魅力が高まり、安心して子育てができるものと考えます。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

(1) 妊娠から出産まで、安心して生み育てることのできる医療体制の整備

H27-065-016 地域包括医療ケア局 医療課

地域医療を担う開業医が少なくなっており、特に産婦人科医や助産所がないことが、妊産婦が安心して生み育てることができない一因となっています。南砺市内で、安心して出産でききるよう長期的な取組みを求めます。

(2) 地域での子育ての拠点となる児童館等の学童保育時間の延長

H27-065-017 こども課 子育て支援係

地域で暮らし子供を育てる上で、児童館・学童保育・放課後児童クラブの利用しやすい運営時間等は大変重要な要素となります。

地域によって学童保育の時間が短い地域があり、共働き家庭からは、利用時間の延長も求められています。

このことから、地域における学童保育の時間延長に取り組むこと。

(3) 保育園から連携した小学校・中学校への進学モデル校の実施

H27-065-018 教育総務課 総務係

小学校や中学校へ進学するにあたり、住所地により就学する学校が決まっています。近年、保護者の都合により住所地外の保育園において保育されるケースがあることから、こうした園児についてはモデルケースとして、保育園の住所地においても進学できる運営モデルの制度を検討されたい。

(4) 小・中学校一貫教育の推進

H27-065-019 教育総務課 総務係

児童数減少に伴い小学校・中学校複式学級による学級編制を余儀なくされる状況となっている。このことにより、教員配置が減となり教育活動に大きな弊害となっている。いろいろな教育活動を小・中学校が連携して実施しているが、小・中学校の教員免許の関係もあり、一貫した教育活動に支障をきたしている。

小学校への英語の導入等においては、免許による制約を受けることなく、幅広い教育活動が実践できるよう関係機関への要望をお願いしたい。

(5) 小・中学校の複式学級解消

H27-065-020 教育総務課 総務係

学校は地域活力の源です。小・中学校の複式学級を解消する関係規則の改正などを国・県に働きかけていただき、小規模小・中学校の学習環境整備に格段のご配慮をお願いしたい。

(6) 特色ある高等教育の実施に向けた取り組みの推進

H27-065-021 教育総務課 総務係

南砺福光高校は県内で唯一の全日制国際科を有し、国際交流に積極的な南砺市の特徴を活かす教育が進められており、地域にとっても必要不可欠な教育機関であるといえます。引き続き、中高一貫の教育体制の検討も含め、国際人の養成等、特色ある教育により、地域で活躍する人材の養成を県と協力して進められたい。